

2 社会

スタンダード

6年 天下統一を目指した織田信長 教育出版

授業展開例
～拡大する・書き込む～

本時のねらい

全国統一を目指す信長の政策について、さまざまな立場の視点から考えることができる。

デジタル教科書（+教材）活用の意図

商業を盛んにし、豊富な資金をもとに大量の鉄砲をそろえるとともに、当時強い力をもっていた仏教勢力に対抗するためにキリスト教を保護し、天下統一を目指した信長ならではの政策を、主体的で対話的な活動を通して深めていく学習を具体化するためにデジタル教科書の資料を活用する。

活用するデジタル教科書とその効果

→ 拡大して書き込む

教科書の資料「安土城の城下町の様子（想像図）」には、「他の大名」、「農民や商工人」、「南蛮人」といったさまざまな人々が描かれている。1ページの大きさで描かれているので見やすいが、デジタル教科書の資料を用いることでさらに拡大して細部を見たり、気付いたことを容易に書き込んだりすることができる。

→ 書き込んだことを伝え合う

デジタル教科書の資料に書き込んだことをもとに、安土城の城下町を行き交うさまざまな立場の人々の視点から信長の政策について話し合うことで、主体的・対話的で深い学びに迫る授業を展開することができる。



安土城の城下町の様子（想像図）
（教育出版6年 p.128）

身に付けたい資質・能力

「他の大名」の視点は政治的側面、「農民や商工人」の視点は経済的側面、「南蛮人」の視点は外交的側面につながる。このように信長の政策について政治・経済・外交の側面から多面的に考えることができるようになる。この資質・能力は、次の時代である江戸時代の徳川家光、さらには、明治時代の久保利通などの人物の業績について、多面的・多角的に考えることができる基礎になる。

本時の学習の流れ

【気付きを出し合う】

教科書の資料「主な戦国大名とその領地」「3人の武将の人物年表」を見る。

- 信長は家康と連合して武田軍を破った。
- たくさんの大名の中で信長はどのようにして力を持っていったのかな。

ワンポイントアドバイス

紙の教科書から入る。

【学習問題を設定する】

< 信長が他の大名と違ってすぐれていたところは何か？ >

【調べて話し合う】

信長の政策と目的を教科書や資料集で調べ、ノートに書いて、出し合う。

教科書の資料「安土城の城下町の様子（想像図）」を見ながら3つに整理する。

- ① 他の大名に対して
- ② 農民や商工人に対して
- ③ 南蛮人に対して

【深める】

他の大名、農民や商工人、南蛮人は、信長の政策について、どのように思っていたのか。

デジタル教科書の「安土城の城下町の様子（想像図）」に吹き出しを付けて書き込み、吹き出しの内容をペアやグループで見せ合ったり、電子黒板で提示したりして話し合う。

ワンポイントアドバイス

3つの立場で考えることから、囲みの色が3つに決めるようにする。



- 農民, 商工人**
団結して自分たちで地域を治めてきたのに…
- 農民, 商工人**
商工業が発展するチャンス！
- 南蛮人**
キリスト教を広めるチャンス！
- 南蛮人**
日本と貿易して儲けたい
- 南蛮人**
敵にすると怖い日本人だ
- 他の大名**
戦に強くて勝てそうにないなあ
- 他の大名**
貿易などを独り占めしているからだ
- 他の大名**
従うべきかな…

【まとめる】

他の大名とちがってすぐれていたところについて話し合い、学習問題についてまとめる。

日常的な活用の留意点

デジタル教科書の資料（イラスト、写真、グラフなど）を拡大して書き込むことで社会的な見方・考え方が広がる。どの資料を活用するか本時のねらいから考えることが重要である。

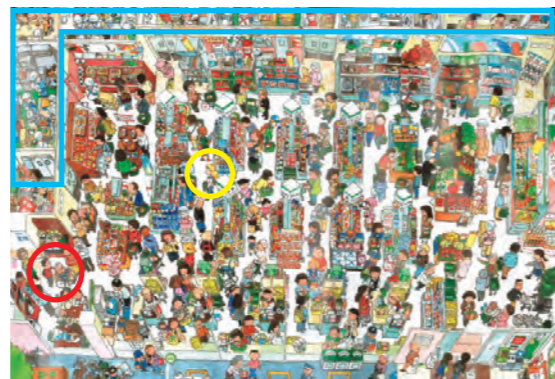
事例1 <第3学年>店ではたらく人と仕事<拡大して書き込む>

[活用方法]

デジタル教科書のイラスト「スーパーマーケット」を拡大して見て、気付いた所に書き込み（マーキング）する。

ワンポイントアドバイス

マーキングした所に吹き出しを付けて理由を書くようにする。理由は紙のノートに書いてもよい。



(教育出版3年 p.51)

[学習内容]

スーパーマーケットのイラストにマーキングしたことを全体で出し合い、品物がたくさん売れるための工夫について話し合う。この学習を通して、自分たちの地域のスーパーマーケットを見学する活動へとつなぐ。

[活用効果]

紙の教科書ではイラストが小さく、焦点化しにくい。拡大して見ることでそれぞれが捉えた視点を分かりやすく共有することができる。拡大したイラストを切り取り、発表（共有）に使用するなどして分かりやすく他者に伝えることもできる。

事例2 <第4学年>ごみはどこへ<拡大して書き込む>

[活用方法]

デジタル教科書のイラスト「ごみの分別のしかたとごみを収集に出すときのきまり」を拡大して見ながら、自分の住む町（地域）との違いを考え、違うところを書き込む。

ワンポイントアドバイス

違う理由を吹き出しに書くことで、ペアやグループで見せやすくなる。

私たちの市は「もやすごみ」は有料袋に入れているよ。



(教育出版4年 p.29)

「プラスチックごみ」も分別しているよ。

[学習内容]

自分の住む町との違いを出し合い、ごみの分別のしかたや収集に出すときのきまりは、地域ごとに異なることを知った上で、「同じところ（共通点）」があり、住むところが異なっても、全国的に「ごみの分別」に取り組んでいることを学ぶ。

[活用効果]

ノートで別にまとめるよりも、実際にデジタル教科書に書き込むことで、自分の住む地域との違いを区別しやすくなる。

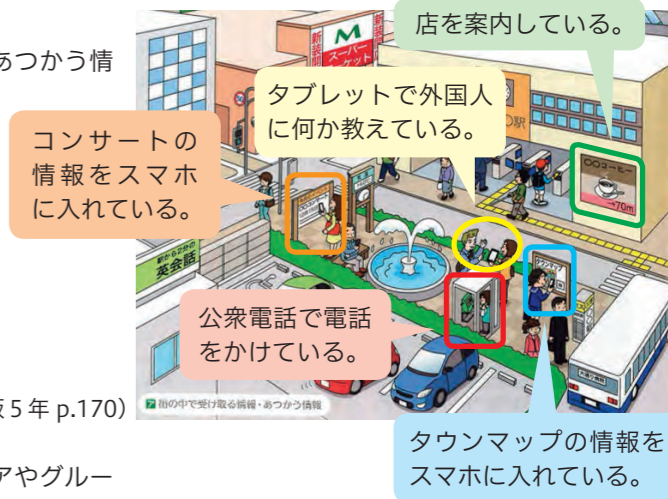
事例3 <第5学年>未来とつながる情報<拡大して書き込む>

[活用方法]

デジタル教科書のイラスト「街の中で受け取る情報・あつかう情報」を拡大して見て、気付いた所（場面）に書き込む。

ワンポイントアドバイス

気付いたことをペアやグループで話し合うことで、気付きが増えていく。



(教育出版5年 p.170)

[学習内容]

マーキングした所（場面）について気付いたことをペアやグループで話し合い、それを全体で出し合い、街の中で受けとれる情報がいろいろあることについて理解する。

[活用効果]

紙の教科書ではイラストが小さく、焦点化しにくい。デジタル教科書のイラストを拡大して見ることで、それぞれが捉えた視点を分かりやすく共有することができる。

事例4 <第6学年>武士の政治が始まる<拡大して書き込む>

[活用方法]

デジタル教科書の復元模型の写真「鎌倉の様子」を拡大して気付いたことを書き込む。

ワンポイントアドバイス

囲むことで鎌倉の地が適していることに気づきやすくなる。

線で囲むと、敵が入ってくる場所がない。

切通しで敵を待ち伏せすれば勝てる。



(教育出版6年 p.110)

海から来てもすぐに見つかってしまう。

[学習内容]

写真を拡大して、どうしてこの場所に幕府の建物を作ったのか、写真を見て気付いたことを話し合い、敵がせめこみにくかったことについて理解する。

[活用効果]

デジタル教科書を用いて拡大することで見やすくなって地形の様子が理解しやすくなり、「切通し」もより鮮明に確認ができるので、理解がより深まる。

6年 元との戦い 教育出版

授業展開例
～拡大する・並べる・比較する・書き込む～

本時のねらい

元との戦いに関する情報を読み取り、戦いにおける御家人の活躍について考えることができる。

デジタル教科書活用の意図

中国を支配したモンゴル人は国号を元と定めて勢力を増し、日本にも攻めてきた。2回にもわたる元軍との戦いの激しさを「蒙古襲来絵詞」などの複数の資料を関連付けて捉え、多様な考えを出し合うことで読み取る。このように関連付けた読み取りや多様な考えを出し合うためにデジタル教科書を活用する。

本時の学習の流れ

[元軍について知る]

資料「元軍との戦い（蒙古襲来絵詞）」「元軍の進路」を見る

- 「てつはう」という新兵器を使っている。
- うたれて血が出ている。
- 2回も攻めてきている。

ワンポイントアドバイス

まず、紙の教科書や社会科資料集で調べる。

[学習問題を設定する]

<なぜ鎌倉幕府は大国の元を退けることができたのか？>

[調べて話し合う]

教科書の資料「博多湾（福岡県）の防塁」や社会科資料集を見て調べる

- 神社が毎日祈っていたおかげで神風が吹いたらしい。
 - 防塁は、資料集に長さ 20km、高さ 2.5 mと書いてあるから結構大きい。
 - 竹崎季長のように恩賞を求めて一生懸命戦う武士がいたからだ。
- 元軍を破ったのは暴風雨が来たこと、防塁を築いたこと、ご恩と奉公の関係のおかげだ。

ワンポイントアドバイス

一度まとめてから意識を広げる。

[考えを広める]

2回にわたって攻めてきた元軍の兵力や被害などについての情報を読み取る。

- 2度目の弘安の役では、3500 せきも沈没して、10 万人の死者が出ている。
- やっぱり暴風雨のおかげだよ。

[考えを深める]

竹崎季長が元軍と戦う姿（「蒙古襲来絵詞」）を拡大して見る。

- 鼻が低い、肌の色が違う、ヒゲもじゃの人など、いろいろな顔の兵士がいる。
- 本当だ。よろいもよく見ると柄が違う。

[考えを広げるための資料]

- 旗田巍著『元寇—蒙古帝国の内部事情』（中公新書）をもとに作成した資料を見る。

	文永の役（1274年）	弘安の役（1281年）	
船の数	900 高麗（朝鮮）が1～6月の6ヶ月間の間に造る。	東路軍 900 高麗（朝鮮）が造る。	江南軍 3500 南宋（中国の南部）が造る。
兵力	3万3千人 ①高麗（朝鮮）人 1万2700人 ②宋（中国）の敗兵 ③女真人（満州） ④漢人（中国人） ⑤蒙古人（モンゴル人） 約30人	4万人 ①高麗（朝鮮）人 ②宋（中国）人・南宋人（10万人） ③遼（契丹人）④漢人 ⑤女真人 ⑥トルコ人 ⑦宋南人 ⑧蒙古人（モンゴル人）（140～150人）	10万人 ※農具や種を持ってた 兵 1万人 水夫 1万5000人
損害	1万3500人死亡 200せき沈没	10万7000人死亡 3500せき沈没	10万人以上の死者が出ている。

いろいろなところから集まってきている。

ワンポイントアドバイス

文永の役と弘安の役について他の文献をもとに作成してもよい。

2度目の弘安の役では、3500せきも沈没している。

やっぱり暴風雨のおかげだよ。

[考えを深めるための資料]

- デジタル教科書 112, 113 ページの竹崎季長が元軍と戦う姿（「蒙古襲来絵詞」）を拡大して見る。



ヒゲもじゃの人もいる。

鼻が低い人や肌の色が違う人がいる。

いろいろな顔の兵士がいる。

よろいもよく見ると柄が違う。

やっぱり、いろいろなところから集まってきている。

(教育出版 6年 p.112-113)

デジタル教科書 ならではの活用 の留意点

学習問題に対する多面的・多角的な思考の広がりや深まりを目指すため、ときには教師が準備した資料を読み取り話し合うことで、もう一度教科書の資料を見る必要性が高まる。そこで、デジタル教科書の資料を拡大、比較して、気付いたことを吹き出しで書き込むようにする。それを電子黒板等に映し出すことで主体的な話し合いが展開され、学びが深まる。

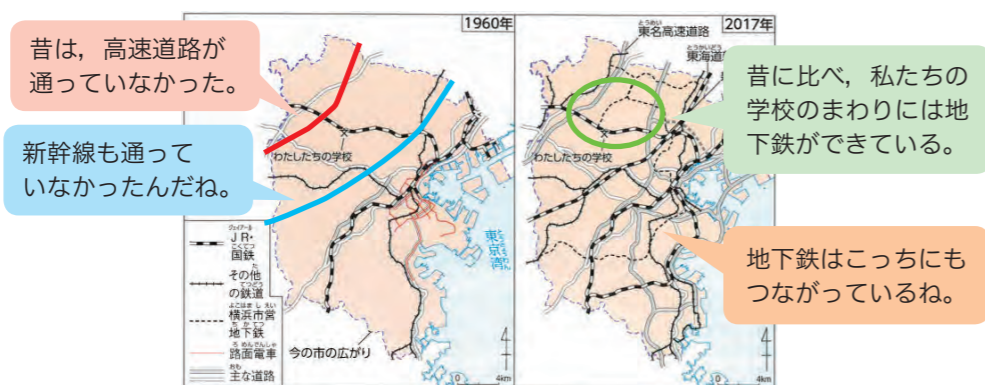
事例1 <第3学年>市のうつりかわり〔比べて書き込む〕

【活用方法】

デジタル教科書の地図「昔と今の横浜市の主な鉄道と道路」の左と右の図を比べ、変化しているところをマーキングする。

ワンポイントアドバイス

話し合っって線の色を決めて引くようにする。



(教育出版3年 p.145)

【学習内容】

マーキングしたところについて全体で話し合い、鉄道や道路が増えてきていることを理解する。この学習を通して、自分たちの地域の鉄道や道路について調べる活動へとつなぐ。

【活用効果】

紙の教科書でも同じページに並んでいるので比べやすいが、マーキングすることは3年生の子供たちにとって差が生じやすく、全体で共有するときにも互いに教科書を見せ合うことになり、デジタル教科書のほうが効果的である。

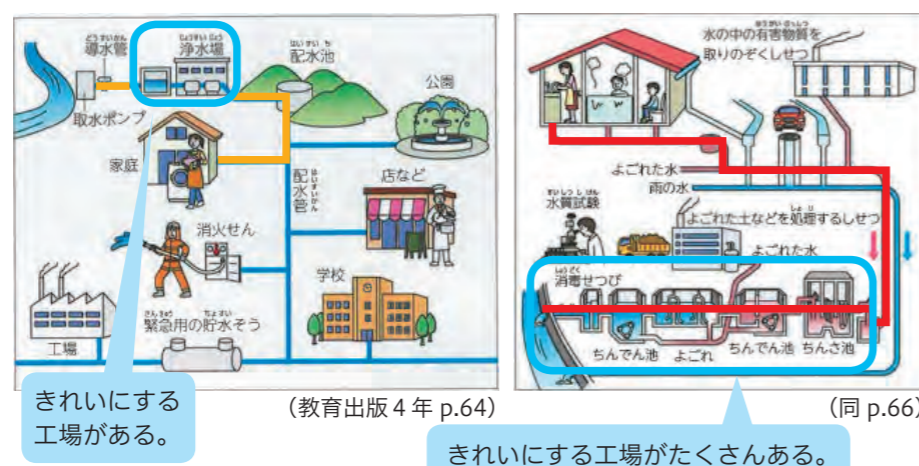
事例2 <第4学年>水はどこから〔並べて比べて書き込む〕

【活用方法】

デジタル教科書のイラスト「水道管を通して水がとどくまで」と「よごれた水がきれいになるまで」を並べて、水を安心して使い、自然にもどすための工夫について考える。

ワンポイントアドバイス

家に届くまでと、家から出てきれいになるまでを線を引き、通して見る。



(教育出版4年 p.64)

(同 p.66)

【学習内容】

取水から使用、使用から放流までの一連の流れをつないで見て、考えたり分かったりしたことを全体で出し合い、水を安全・安心に使えるための努力と、環境保全の取り組みを両立させていることを理解する。

【活用効果】

紙の教科書では、ページが分かれているが、デジタル教科書のイラストを切り取って「上水」「下水」のしくみを並べて見ることで、分かりやすくなり、水を使うしくみの一連の流れを理解しやすくなる。

事例3 <第5学年>自然条件と人々の暮らし〔並べて比べて書き込む〕

【活用方法】

デジタル教科書の「4地域の雨温図」と「4地域の産業」の写真を並べて比べ、気付いたことを書き込む。

ワンポイントアドバイス

雨温図と写真は3ページ分にわたっているので教師が準備・配付して、児童自前で配置する。

気温が高いからパイナップルを作ることができるんだ。

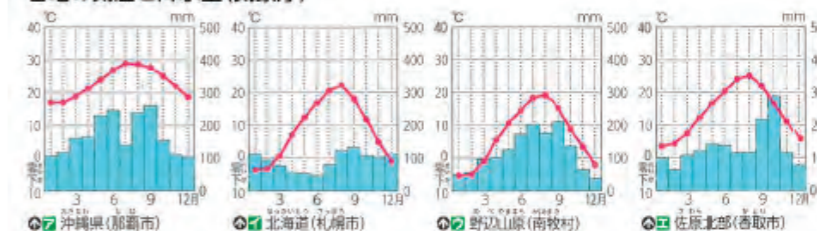
はくさいは夏でも涼しくないよと作ることができないんだ。



【学習内容】

考えて分かったことを全体で出し合う。このことにより、あたたかい地域の産業、寒い地域の産業、高地の産業、低地の産業は気候に応じて行っていることが分かる。

各地の気温と降水量(気象庁)



(教育出版5年 p.28-29)

【活用効果】

紙では雨温図と写真が離れていて各地域の産業と気候との関連付けが難しいので、デジタル教科書の雨温図を切り取って産業の写真の下に配置することで見やすくなり、考えやすくなる。

事例4 <第6学年>大陸に学んだ国づくり〔並べて比べて書き込む〕

【活用方法】

デジタル教科書のイラスト「武士の暮らし」と「貴族の暮らし」を並べて比べ、武士の暮らしについて読み取る。

ワンポイントアドバイス

屋敷内、中庭、塀の外など、多方面から暮らし方を見るようにする。



(教育出版6年 p.100)

(同 p.106-107)

【学習内容】

貴族の暮らしと武士の暮らしを比べながら違いについて話し合い、貴族と違う武士の特色を考え、武士の時代の様子について理解する。

【活用効果】

紙の教科書では、横並びにして比べることができないが、デジタル教科書のイラストを切り取って並べることで、比べながら考えることができ、話し合いも深まる。